

第157回 大原美術館 ギャラリーコンサート

宮田 大 & 田村 響

デュオ・リサイタル

《ベートーヴェン生誕250年記念》

オール・ベートーヴェン・プログラム

© M.Yamashiro

© 武藤 章



Dai Miyata, Violoncello & Hibiki Tamura, Piano

2020年

1月25日(土) 開場18時/開演18時30分

大原美術館・本館2階ギャラリー

全自由席 5,000円(税込)

学生シート1,000円(税込)【小学生~25歳までの学生対象・限定先着30席】

※公演当日、入場時に学生証の提示をお願いいたします。

チケット発売 12月24日(火)9時~

【定員200名】

お申し込み・お問合せ

大原美術館 TEL086-422-0005

*月曜、12/28-31は休館 ただし12/23、元旦は開館

ギャラリーコンサート

TEL086-422-2140

*土・日・祝日、12/28-1/5は休業

第157回 大原美術館 ギャラリーコンサート

Ludwig
van
Beethoven

《ベートーヴェン》

モーツァルトの『魔笛』の「恋を知る男たちは」
の主題による7つの変奏曲 変ホ長調 WoO 46

チェロ・ソナタ 第5番 ニ長調 Op.102-2

チェロ・ソナタ 第4番 ハ長調 Op.102-1

チェロ・ソナタ 第2番 ト短調 Op.5-2

2020年はベートーヴェン生誕250周年です。年明け最初の大原美術館ギャラリーコンサートは、日本を代表する若手ソリストのデュオで、オール・ベートーヴェン・プログラムをお楽しみ下さい。

宮田大さん(チェロ)と田村響さん(ピアノ)は共に1986年生まれ。世界的な国際コンクールでの優勝後、それぞれソリストとして活躍する一方、以前から共演を重ねている盟友でもあります。コンサートでは、互いのリスペクトと、同い年ならではの自由闊達なやり取りが垣間見える、瑞々しい音楽の対話をじっくり味わっていただけるでしょう。

プログラムには、チェロ作品の“新約聖書”とも言われるソナタに加え、ベートーヴェンがこよなく愛した変奏曲も。これからの音楽界を牽引するお二人の熱演に、どうぞご期待下さい。



© Shunji Kamemura

宮田 大 (チェロ) Dai Miyata, Violoncello

1986年、栃木県宇都宮市生まれ。音楽教師の両親のもと3歳よりチェロを始め、出場したコンクールは、第74回日本音楽コンクールを含むすべてで第1位。2009年、第9回ロストロポヴィチ国際チェロコンクールで日本人として初優勝。第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第20回出光音楽賞、第13回ホテルオークラ音楽賞など受賞多数。桐朋学園音楽部門特待生、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースを首席で卒業。2009年にジュネーヴ音楽院卒業。

チェロを倉田澄子、フランス・ヘルメルソンの各氏に、室内楽を東京クワルテット、原田禎夫、原田幸一郎、加藤知子、今井信子、リチャード・ヤング、ガボール・タカーチ=ナジの各氏に師事する。

国内の主要オーケストラはもとより、パリ管弦楽団、フランクフルトシンフォニエッタ、S.K.ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団などと共演。小澤征爾、E.インバル、L.スワロフスキーなどの指揮者や、L.ハレル、G.クレーメル、Y.バシュメット、M.ヴェンゲーロフ、A.デュメイ、日本を代表する多くの演奏家と共演し、国内外の音楽祭やソロ活動を活発に行っている。

ドキュメンタリー「小澤征爾さんと音楽で語った日～チェリスト・宮田大・25歳～」(芸術祭参加作品)、「カルテットという名の青春」、「NHKワールド "Rising Artists Dai Miyata"」、テレビ番組「クラシック倶楽部」「らららクラシック」「題名のない音楽会」などにも出演。

CDは「Dai First」、「宮田大/チェロ會集」、SACD「宮田大/チェロ會集」、DVD&ブルーレイ「小澤征爾指揮 水戸室内管弦楽団 2012～チェロ独奏 宮田 大～」をリリース。

使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1698年製ストラディヴァリウス"シャモニー(Cholmondeley)"。
[オフィシャルサイト:<http://www.daimiyata.com/>]



© 武藤 章

田村 響 (ピアノ) Hibiki Tamura, Piano

1986年、愛知県安城市生まれ。3歳よりピアノを始める。18歳でザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学に留学。2015年大阪音楽大学大学院修了。これまでにクラウディオ・ソアレス、クリストフ・リースケほか各氏に師事。

2007年ロン・ティボー国際コンクールにおいて弱冠20歳で第1位。以来、ザルツブルク・モーツァルテウムで研鑽を積み、国際的な演奏活動を展開している。

2009年ビシュコフ指揮ケルン放送交響楽団の定期演奏会デビューと日本ツアーを行ったほか、これまでに、N響、都響、新日本フィル、名古屋フィル、京響、大阪フィル、仙台フィル、群響などと共演。ヨーロッパと日本でリサイタルも活発に行っている。室内楽では、マキシム・ヴェンゲーロフ、堀米ゆず子、篠崎史紀、宮田大、三浦文彰の各氏等と共演。2019年3月にはマニュエル・ルグリがプロデュースするバレエ作品にも出演し、自身初となるダンス・ステージとのコラボレーションを果たした。

2002年、エトリンゲン青少年国際ピアノ・コンクールB部門第2位及びハイドン賞、第26回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、第18回園田高弘賞ピアノ・コンクールにて園田高弘賞第1位を受賞。

2004年デビューCDをリリース、2008年には「ロン・ティボー国際コンクール優勝記念」と称した2枚目のCDを、2010年には3枚目のCDをトリトンレーベルにてリリース。

2003年アリオン賞、第14回大幸財団丹羽奨励生、(財)江副育英会奨学生、2006年第16回出光音楽賞、2008年文化庁長官表彰・国際芸術部門、2009年第10回ホテルオークラ音楽賞、2015年第70回文化庁芸術祭音楽部門新人賞、2017年度京都市芸術新人賞などを受賞。京都市立芸術大学専任講師。

